

概要

静電容量式タッチセンサ対応開発支援ツール QE for Capacitive Touch を V3.1.0 から V3.2.0 にリビジョンアップしました。

1. リビジョンアップ内容

主なリビジョンアップ内容を以下に記します。詳細およびインストール方法については、以下のリリースノートをご参照ください。

- QE for Capacitive Touch V3.2.0 リリースノート

<https://www.renesas.com/document/rln/qe-capacitive-touch-v320-release-note>

1.1 サポートデバイスの追加

- サポートデバイスに以下のグループを追加しました。

RL78 ファミリ : RL78/G22 グループ

1.2 プラグイン版メインビューのリニューアル

メインビューは e² studio メニューの[Renesas Views]→[Reneas QE]を順に選択し、[CapTouch ワークフロー(QE)]を選択します。メインビューは2つのタイプがあります。

初回のメインビュー起動時は、図1のガイダンス、チュートリアル動画などを載せているガイドが充実したタイプのビューを表示します。ビューの幅を狭くすると、図2のシンプルなガイドタイプのビューを表示します。2つのタイプのメインビューは、ビューの表示幅を変えることにより、自動的に切り替わります。

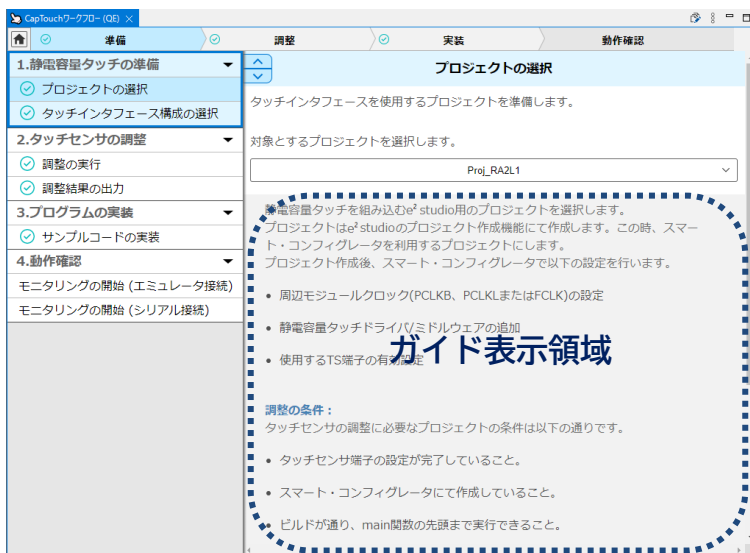


図 1. 充実したガイドを表示

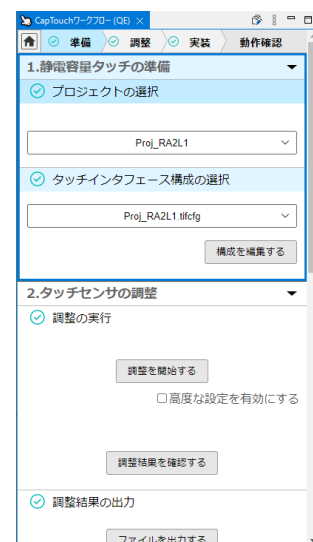


図 2. シンプルなガイドを表示

1.3 3D ジェスチャで使用する AI モデルの int8 量子化

AI モデル内計算の int8 量子化に対応しました。これにより、ROM/RAM サイズの削減と実行速度の向上が見込めます。

ジェスチャの学習の[ジェスチャの学習]ダイアログで[設定]を押下し、[学習設定]ダイアログを開きます。[学習設定]ダイアログで、[ニューラルネットワーク設定]タブのニューラルネットワークの選択から[サイズ優先(量子化)]を選択します。

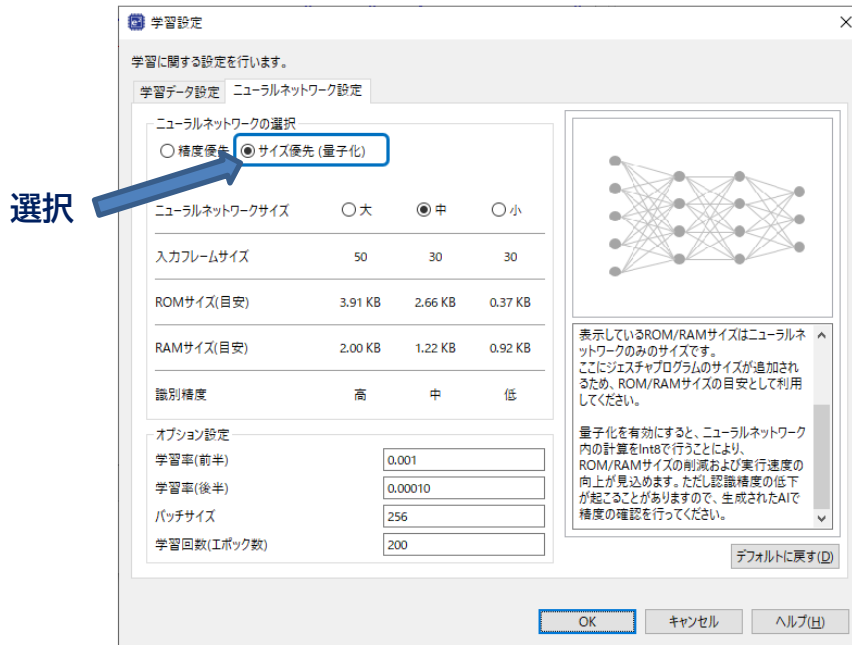


図 3. 学習設定ダイアログ: ニューラルネットワーク設定

[サイズ優先(量子化)]を選択した場合、AI モデル内の計算を int8 量子化することにより、認識精度の低下が起こることがありますので、生成された AI で精度の確認をしてください。

2. 動作環境

- ▶ 統合開発環境 e² studio 2022-10 以降

本製品の使い方は e² studio の [ヘルプ]メニューから、QE の項目を参照してください。

3. 入手方法

以下の URL から QE for Capacitive Touch V3.2.0 のインストーラをダウンロードしてください。

<https://www.renesas.com/software-tool/qe-capacitive-touch-development-assistance-tool-capacitive-touch-sensors#tab-release-information>

以上

改訂記録

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	Mar.01.23	-	新規発行

本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中の URL を予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

本社所在地

〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24 (豊洲フォレシア)

www.renesas.com

お問合せ窓口

弊社の製品や技術、ドキュメントの最新情報、最寄の営業お問合せ窓口に関する情報などは、弊社ウェブサイトをご覧ください。

www.renesas.com/contact/

商標について

ルネサスおよびルネサスロゴはルネサス エレクトロニクス株式会社の商標です。すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。